

テキストの特色

- このテキストでは、6年生の1学期に学習したことからをしっかり復習し、学力をきちんと身につけることを第一の目標としています。あわせて、5年生までに学習したことから、單元ごとに復習できるように構成されています。
- 各講座では、「要点の確認」で基本的なことから確認し、「練習問題」で発展的な内容の学習を行い、学力の定着をはかります。



も く じ

1	日本の農・水産業	2
2	日本の工業	5
3	日本の自然と産業	8
4	日本の国の成り立ち	12
5	律令政治と奈良の都	15
6	摂関政治と武士の進出	18
7	武士の政治	21
○	歴史要点チェック	24



1

日本の農・水産業

●学習のポイント

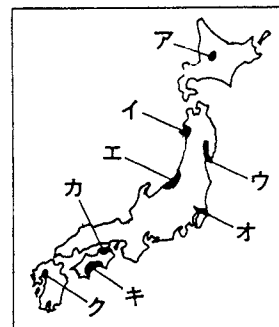
- ①日本の米づくり
- ②日本の畜産・畑作
- ③日本の水産業

要点の確認 … () にあてはまる語句を書きなさい。

- (1) 日本の畑・田・果樹園・牧草地の中で、もっとも耕地面積が広いのは(①)で、農業生産額は畜産物ちくさんぶつが全体の約(②)分の1をしめている。 (1)① _____
② _____
- (2) 米の生産量をもっとも多いのは(①)地方で、北陸地方とともに日本の(②)とよばれている。 (2)① _____
② _____
- (3) 食生活の変化などで米があまるようになると、政府は1971年から、米以外の作物をつくる(①)などを農家にすすめ、米の(②)を行ってきた。 (3)① _____
② _____
- (4) 大都市の近くでは、新鮮しんせんな農産物を(①)費をあまりかけずに市場へ運べるため、さまざまな野菜の生産がさかんである。これを(②)農業という。 (4)① _____
② _____
- (5) 大都市から遠い地方では、暖かい気候や(①)などを利用した(②)栽培さいばいや、すずしい気候を利用してレタス・キャベツ・はくさいなどの(③)野菜をつくる農業が行われている。 (5)① _____
② _____
③ _____
- (6) くだものは、各地の気候に合わせて多くの種類が生産されているが、特に、愛媛県などの暖かい地方に適した(①)、青森県などのすずしい地方に適した(②)の生産が多い。 (6)① _____
② _____
- (7) 日本なしは千葉県や茨城県、栃木県、福島県、(①)で生産が多く、ぶどう・ももは(②)県での生産をもっとも多い。 (7)① _____
② _____
- (8) 日本の畜産業は、経営規模きぎょうきぼが小さいこと、飼料の多くを外国からの(①)にたよっていることなどから生産費が(②)つくという問題点をかかえている。 (8)① _____
② _____
- (9) らく農は土地の広い(①)でもっともさかんであるが、ぶたの飼育数では(②)が全国第一位である。 (9)① _____
② _____
- (10) 農産物の生産に影きょうえいぎょうをあたえる自然さい害さいがいには、ひでりの害(干害)、台風などによる(①)、夏に気温が上がらないためにおこる(②)などがある。 (10)① _____
② _____
- (11) 漁業には、小さな船で日帰りの漁をする(①)、中型の船で数十日の漁をする(②)、外国の海へでかける遠洋漁業がある。 (11)① _____
② _____
- (12) 日本の漁業は、(①)カイリ水域の設定による漁かく規制やとりすぎによる水産物の減少などの問題をかかえ、養しよくや(②)漁業といった育てる漁業に力が入れている。 (12)① _____
② _____

練習問題

1 《日本の米作り》 次の各問いに答えなさい。



(1) 次の各文にあてはまる地域を、右の地図中のア～クから選び、記号で答えなさい。

A () B () C () D ()

A ①湖を干拓して広い耕地がつくられ、機械化の進んだ農業が行われている。

B ②気候が適さないため、明治時代まで米作りは行われなかったが、品種改良や栽培技術の進歩によりさかんになった。

C ③日本一長い川の下流に広がる平野では、冬は雪のためほとんど農業ができず、日本の米ぐらとよばれるほど米作りがさかんである。

D ④遠浅の海を干拓して耕地が広げられ、米作りがさかんである。また、二毛作がさかんで、米の裏作として、麦やい草などの栽培も行われている。

(2) (1)の下線部①の湖の名を次から選び、記号で答えなさい。 ()

ア 霞ヶ浦 イ 十和田湖 ウ 八郎潟 エ 琵琶湖

(3) (1)の下線部②について、夏に気温が上がらないためにおこる自然災害を何といいますか。 ()

(4) (1)の下線部③の平野名を次から選び、記号で答えなさい。 ()

ア 関東平野 イ 越後平野 ウ 石狩平野 エ 濃尾平野

(5) (1)の下線部④の海の名を答えなさい。 ()

(6) 次の米作りの作業を、正しい順にならべかえて、記号で答えなさい。

ア 稲かり イ 田植え ウ 雑草取り・農薬まき
エ 田おこし オ もみすり カ しろかき

(→ → → → →)

2 《日本の畜産業》 次の各問いに答えなさい。

(1) 乳牛を飼って牛乳をとり、乳製品を生産する農業を何というか答えなさい。

()

(2) 右の表中の①・②にあてはまる都道府県を、次から選び、記号で答えなさい。 ① () ② ()

乳用牛 (万頭)		肉用牛 (万頭)		ぶた (万頭)		肉用若鶏 (百万羽)	
①	79.5	①	51.0	②	133.2	宮崎	28.2
栃木	5.3	②	33.3	宮崎	83.9	②	26.3
岩手	4.5	宮崎	25.0	千葉	68.1	岩手	21.8
熊本	4.4	熊本	13.0	①	62.6	青森	6.8
群馬	3.9	岩手	9.2	群馬	61.3	①	4.9
全国	139.5	全国	256.7	全国	953.7	全国	135.7

(2014年)

(2016/17年版「日本国勢協会」より)

ア 鹿児島 イ 長野 ウ 愛知 エ 北海道 オ 佐賀

(3) 1991年に輸入が自由化され、わが国の畜産農家に大きな影きょうをあたえている畜産物は何ですか。 ()

2

日本の工業

- 学習のポイント
 ①日本の工業の特色
 ②伝統工業
 ③工業のさかんな地域

要点の確認 … () にあてはまる語句を書きなさい。

- (1) 船・テレビ・カメラなどをつくる工業を(①), 電線や鉄鋼などをつくる工業を(②), プラスチックや合成せんいなどをつくる工業を(③)といい, これらをまとめて(④)という。 (1)① _____
 ② _____
 ③ _____
 ④ _____
- (2) 糸や織物をつくる工業を(①), 砂糖やかんづめなどをつくる工業を(②), セメントや陶磁器とうじきなどをつくる工業をよう業とうじきといい, これらをまとめて(③)という。 (2)① _____
 ② _____
 ③ _____
- (3) 現在の日本の工業の中心は(①)工業であり, 特に(②)工業の生産額がしめる割合は, 全体の40%をこえている。 (3)① _____
 ② _____
 ③ _____
- (4) 中小工場の多くは, 大きな組み立て工場から注文を受け, 部品をつくる(①)となっている。中小工場と大工場では(②)の方が数は多い。 (4)① _____
 ② _____
- (5) (①)工業地帯は, 機械工業の割合が高いが, 出版社が集中しているため, (②)がさかんなことも特色の一つである。 (5)① _____
 ② _____
- (6) (①)工業地帯は, せんい・陶磁器などの工業が古くから発達し, 現在では(②)工業などの機械工業の割合が高い。 (6)① _____
 ② _____
- (7) (①)工業地帯は戦前は第1位の工業地帯で, せんいや雑貨ざっかなどの工業もさかんで, (②)工場が比かく的多い。 (7)① _____
 ② _____
- (8) (①)工業地帯は, 古くから(②)を中心とした金属工業が発達したが, 近年のびなやみ, 地位が低下している。 (8)① _____
 ② _____
- (9) (①)工業地域は東京湾沿岸の石油化学コンビナートを中心に発達し, (②)工業地域は富士・浜松ふじ はまつなどに特色ある工業が育ち, (③)工業地域はうめ立てによる工業用地がえやすく, 倉敷くらしき(水島みずしま)などで, 重化学工業が発達している。 (9)① _____
 ② _____
 ③ _____
- (10) 北海道や(①)工業地域をのぞいたおもな工業地帯・地域は南関東から北九州にかけての(②)とよばれる地域にある。 (10)① _____
 ② _____
- (11) 伝統工業は, その土地の生活と結びついて発達しており, 石川県の(①)塗ぬり, 佐賀県の唐津焼からつ・(②)焼, 京都の(③)織など, その内容はさまざまである。 (11)① _____
 ② _____
 ③ _____
- (12) 急速な工業発展の結果, 各地に公害が発生し, 八代海沿岸の(①)病あがの, 阿賀野川流域の水銀中毒じんずう, 神通川流域の(②)病, 四日市(③)などが大きな問題となった。公害問題を解決するため, 政府は, (④)という役所を設置するなどした。 (12)① _____
 ② _____
 ③ _____
 ④ _____

練習問題

1 《日本の工業の特色》 次の文を読んで、あとの各問いに答えなさい。

日本の工業は、第二次世界大戦前は〔①〕工業を中心とした軽工業が生産の中心であったが、現在は〔②〕工業を中心とする③重化学工業が中心となっており、世界有数の工業生産をあげている。しかし、大工場の数は少なく、④中小工場が全体の9割をしめている。中小工場の多くは大工場の〔⑤〕工場となっており、多くの問題をかかえている。

(1) 文中の〔①〕,〔②〕にあてはまることばを次から選び、記号で答えなさい。

① () ② ()

ア 化学 イ せんい ウ 金属 エ 食料品 オ 機械

(2) 下線部③について、重化学工業の製品にあてはまらないものを次から選び、記号で答えなさい。

ア プラスチック イ 船舶せんぱく ウ セメント エ 電線

(3) 下線部④について、大工場と比べた場合の中小工場の特色として正しいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 1工場あたりの生産高や賃金は高いが、競争がはげしく倒産とうさんしやすい。

イ 賃金は高いが1工場あたりの生産高は低く、経営が苦しい。

ウ 1工場あたりの生産高は高いが、賃金が低く、働く人の不満が多い。

エ 1工場あたりの生産高や賃金は低く、倒産しやすい。

(4) 〔⑤〕にあてはまることばを答えなさい。

(5) 〔⑤〕工場が特に多く見られるのは、何をつくる工業においてですか。次から選び、記号で答えなさい。

ア 自動車 イ かんづめ ウ 鉄鋼 エ 薬品

2 《日本の伝統工業》 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の①～⑥の伝統工業製品が生産されている地域を、右の地図中のア～カから選び、記号で答えなさい。

① () ② () ③ () ④ ()

⑤ () ⑥ ()

① 輪島塗わじまぬり ② 西陣織にしじんおり ③ 久留米がすりくるとめ

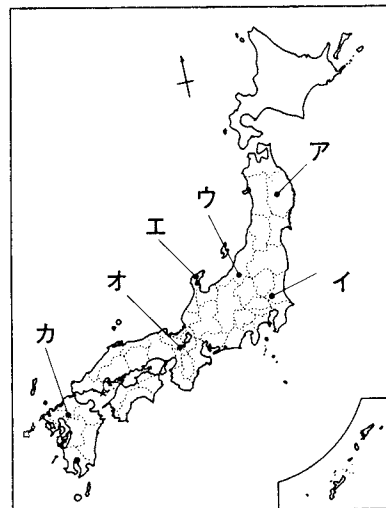
④ 結城つむぎゆうき ⑤ 南部鉄器なんぶてつき ⑥ 小千谷ちぢみおぢや

(2) 焼き物の産地としてあてはまらないものを、次から選び、記号で答えなさい。

ア 有田ありた イ 益子ましこ ウ 熊野くまの エ 信楽しがらき

(3) 各地の伝統工業が共通してかかえている、伝統工業を維持していくためのもっとも大きな問題は何ですか。

()



3 《工業がさかんな地域》 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の①～④の説明にあてはまる工業地帯，工業地域を右の地図中のア～カから選び，記号で答えなさい。

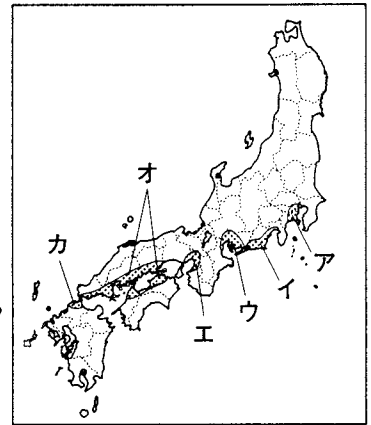
① () ② () ③ () ④ ()

① 豊田市を中心に，自動車工業が発達しており，機械工業の生産額に占める割合が高い。

② 水陸の交通の便の良さを利用して成長した工業地域で，周南・水島（倉敷）などに石油化学コンビナートが発達している。

③ 四大工業地帯の一つとして金属工業を中心に発展してきたが，近年のびなやみ，新しい工業地域よりも生産額が少なくなり，地位が低下している。

④ 第二次世界大戦前は，日本第1位の生産額をあげていた。戦前からのせんい・雑貨などの軽工業に加え，戦後は重化学工業も発達した。



(2) 右のグラフは，中京，阪神，京浜，北九州工業地帯の生産額の割合の移りかわりを表しています。グラフ中のア～エから中京工業地帯にあてはまるものを選び，記号で答えなさい。 ()

	ア	イ	ウ	エ	その他
1960年	24.7%	20.9	10.8	4.2	39.4
1980年	17.5%	14.1	11.7	2.7	54.0
2014年	8.5%	10.3	17.8	2.8	60.6

(2016/17年版「日本国勢図会」より)

(3) 京浜工業地帯の中では，他の工業地帯の生産額が少ないためグラフなどには表しにくいですが，ある特色のある工業が都心部に特に発達しています。この工業の名前を答えなさい。 ()

(4) 大きな製鉄所がある都市にあてはまらないものを，次から選び，記号で答えなさい。
 ア 君津 (きみつ) イ 大分 (おおいた) ウ 浜松 (はまつ) エ 福山 (ふくやま) ()

4 《公害》 次の文を読んで，あとの各問いに答えなさい。

A 三重県 [] 市では，1960年ごろからぜんそくで苦しむ人が増え，死者も出た。原因は，石油化学工場から出るばい煙にふくまれていた(①)であった。

B 熊本県水俣市では，化学工場の排水にふくまれていた(②)が原因で，手足がしびれたり口がきけなくなったりして，ひどくなると死ぬ公害病が発生した。

C 富山県神通川流域では，鉾山から出された(③)が原因で，骨がもろくなり，はげしい痛みをともなうイタイイタイ病が発生した。

(1) [] にあてはまる都市名を答えなさい。 ()

(2) (①)～(③)にあてはまることばを次から選び，記号で答えなさい。

① () ② () ③ ()

ア カドミウム イ 亜硫酸ガス (ありゅうさん) ウ ひ素 エ 有機水銀

解答

《S小6社会B》

1 日本の農・水産業 2~4 ページ

要点の確認

- (1)①田 ②3 (2)①東北 ②米ぐら
(3)①転作 ②生産調整(減反政策)
(4)①輸送 ②近郊 (5)①ビニルハウス
②促成 ③高原 (6)①みかん ②りんご
(7)①鳥取 ②山梨 (8)①輸入 ②高く
(9)①北海道 ②鹿児島県 (10)①風水害
②冷害 (11)①沿岸漁業 ②沖合漁業
(12)①200 ②栽培

練習問題

- 1 (1)Aイ Bア Cエ Dク (2)ウ
(3)冷害 (4)イ (5)有明海 (6)エ→カ→イ→
ウ→ア→オ
2 (1)酪農 (2)①エ ②ア (3)牛肉
3 (1)①ウ ②ア ③イ (2)促成 (3)イ
(4)④ウ ⑤ア ⑥エ (5)山梨県 (6)イ
4 (1)A 沖合漁業 B 沿岸漁業 (2)200
(3)ウ

解説 1 (1)A 秋田県のおおがたの大潟村。B 上川盆地。C 信濃川下流の越後平野。D 筑紫平野。
(3)寒流の千島海流とやませの影きょうにより、北海道・東北地方の太平洋側でおこりやすい。(4)コシヒカリの産地として知られている。(5)有明海沿岸の干拓地では、機械化の進んだ農業が行われている。2
(1)北海道の根釧台地などでさかんに行われている。(2)各家畜の飼育数の上位はおぼえておきたい。(3)値段の安さが、国内産の牛肉だけではなく、ぶた肉にも影きょうを及ぼしている。3 (1)①宮崎平野や高知

平野の促成栽培を思い出す。②、③すずしい地方では、高原野菜として栽培されている。なお、たまねぎは、北海道や兵庫などでの生産が多い。(4)みかんは暖かい地方の、りんごはすずしい地方の代表的なくだもの。(5)甲府盆地の扇状地でくだもの栽培がさかん。(6)さとうの原料となるのは、てんさいとさとうきび。てんさいは北海道でだけ生産されている。なたねは油、こうぞは和紙、うるしは染料の原料となる。4 (1)最も漁かく量が多いのは沖合漁業であるが、最近は何てきてきている。また、全体の漁かく量もへっている。(2)1970年ごろから各国が200カイリ経済水域を宣言し始めた。(3)漁かく量全体がへっている中、海面養しよく業の漁かく量は増える傾向にある。養しよくがさかんに行われている地域をとらえておきたい。

2 日本の工業 5~7 ページ

要点の確認

- (1)①機械 ②金属 ③化学 ④重化学工業
(2)①せんい ②食料品 ③軽工業 (3)①重化学 ②機械 (4)①関連工場(下請工場)
②中小工場 (5)①京浜 ②印刷業 (6)①中京 ②自動車 (7)①阪神 ②中小 (8)①北九州 ②鉄鋼業 (9)①京葉 ②東海 ③瀬戸内 (10)①北陸 ②太平洋ベルト (11)①輪島 ②有田 ③西陣 (12)①水俣 ②イタイイタイ ③ぜんそく ④環境庁

練習問題

- 1 (1)①イ ②オ (2)ウ (3)エ

(4)関連(下請) (5)ア

2(1)①エ ②オ ③カ ④イ ⑤ア ⑥ウ
(2)ウ (3)あとつぎの育成(不足)

3(1)①ウ ②オ ③カ ④エ (2)ウ

(3)印刷業 (4)ウ

4(1)四日市 (2)①イ ②エ ③ア

解説 1(2)セメントはよう業にふくまれる。
(3)不景気の影きょうを受けやすい。
(4)大工場の注文を受けて部品などを製造している。
(5)自動車のよう、数多くの部品を使う工業に多く見られる。
2(1)おもな伝統工芸品の産地をまとめておく。
(2)熊野は筆の生産で知られる。
(3)伝統工業では、技術の修得に時間がかかり、あとつぎの不足になやんでいるところも多い。

3(1)①中京工業地帯。②瀬戸内工業地域。
③北九州工業地帯。現在では、北九州工業地帯をのぞいて、三大工業地帯とよばれるようになってきている。
④阪神工業地帯。各工業地帯・地域の特色や工業都市などをとらえておく。
(2)中京工業地帯は、現在第1位の生産額をあげている。
(3)京浜工業地帯では、機械工業につぐ生産額をあげている。
(4)浜松は楽器・オートバイなどの特色ある工業で知られている。大製鉄所や石油化学コンビナートのある都市は重要。
4大きな公害が発生した地域とその原因はとらえておく。A~Cの他に、新潟県の阿賀野川流域に発生した新潟水俣病(第二水俣病)も重要。

3 日本の自然と産業 8~11ページ

1(1)①イ ②ク ③カ (2)④日本海流(黒潮) ⑤千島海流(親潮) (3)南鳥島
(4)東京都 (5)Aエ Bア Cウ
(6)リアス(式)海岸 (7)135

2①D ②A ③C

3(1)①イ ②ウ ③ク ④キ ⑤オ ⑥エ
(2)A (3)Aエ Bイ Cオ Dカ Eア
Fウ (4)Aカ Bウ Cエ Dア Eイ
Fオ (5)①オ ②ウ ③コ ④ク

4(1)②エ ③イ (2)①イ ②エ ③ウ
④オ ⑤カ ⑥ア (3)②

(4)愛知県, 静岡県, 宮城県 (5)ウ

5(1)Aオ Bイ Cア Dク Eエ

(2)阪神工業地帯 (3)上越新幹線 (4)越後平野
(5)さとう (6)十勝平野 (7)クリーク
(8)輪中 (9)ウ (10)①イ ②ウ ③エ ④オ
⑤ア

解説 1(1)②日本の総面積は、国後、色丹、歯舞、択捉の北方領土を加えて約38万km²。
③山地が多く、あまり大きな平野はない。
(2)これらの海流は、日本の気候にも影きょうを与えている。
(3)日本の北のはしは択捉島、西のはしは与那国島。
(4)沖ノ鳥島と南鳥島は東京都に属する。
(5)3000m級の山々が連なっている。おもな山地・山脈の位置は地図で確認しておく。
(6)三陸海岸、若狭湾沿岸、志摩半島をさしている。山地が海にしずんでできた出入りのはげしい海岸で、波の静かな入り江は漁港や養しよく場に向いている。
(7)兵庫県明石市を通る経線。なお、経度15度で1時間の時差があり、日本標準時は経度0度のロンドンと9時間の時差が生じる。
2①吉野川。瀬戸内気候のようすであることに気づく。
②石狩川。泥炭地、三日月湖から判断できる。
③利根川。台地、らっかせいから判断する。
3(1)夏と冬の気候の違いをとらえておく。夏と冬の季節風の向きに注意する。
(2)冬は日本海側に多く雪や雨が降る。
(3)A札幌, B松本, C富山, D浜